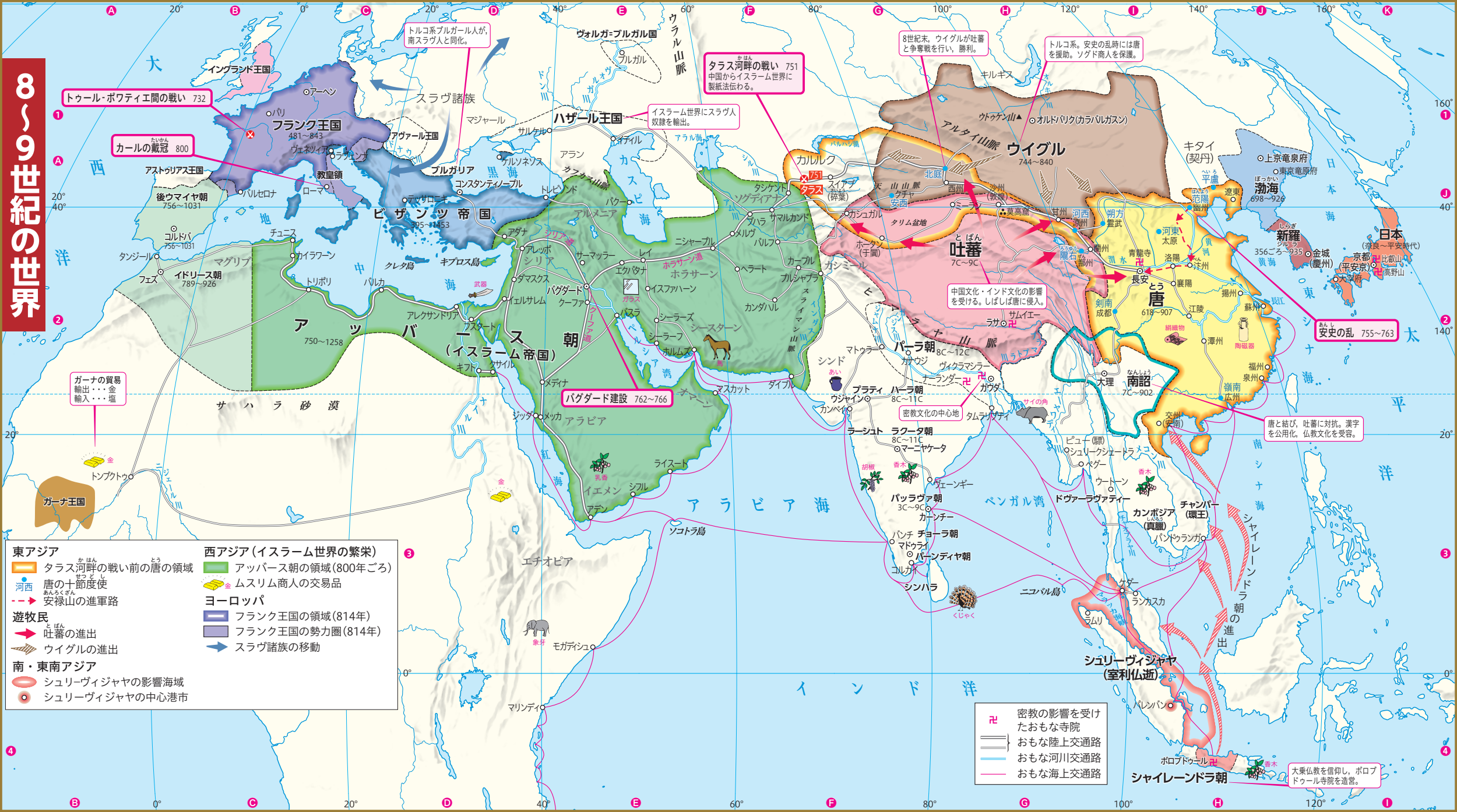


8〜9世紀の世界



トゥール-ポワティエ間の戦い 732

カールの戴冠 800

トルコ系ブルガール人が、南スラヴ人と同化。

タラス河畔の戦い 751
中国からイスラーム世界に製紙法伝わる。

8世紀末、ウイグルが吐蕃と争奪戦を行い、勝利。

トルコ系。安史の乱時には唐を援助。ソグド商人を保護。

ガーナの貿易
輸出・・・金
輸入・・・塩

バグダード建設 762~766

中国文化・インド文化の影響を受ける。しばしば唐に侵入。

唐と結び、吐蕃に対抗。漢字を公用化し、仏教文化を受容。

安史の乱 755~763

大乘仏教を信仰し、ポロブドゥール寺院を造営。

東アジア 唐の十節度使 安祿山の進軍路 吐蕃の進出 ウイグルの進出	西アジア(イスラーム世界の繁栄) アッパース朝の領域(800年ごろ) ムスリム商人の交易品 ヨーロッパ フランク王国の領域(814年) フランク王国の勢力圏(814年) スラヴ諸族の移動
南・東南アジア シュリーヴィジャヤの影響海域 シュリーヴィジャヤの中心港市	

密教の影響を受けたおこな寺院 おこな陸上交通路 おこな河川交通路 おこな海上交通路
--